



イエローカラーに先祖帰りだー！

「ふくいのにりのりマップ」第6版 発行

第6版 / 4ページ関連記事

活動報告

- 4月28日 MAP 部会、マップを事業者、書店等に委託配布
- 4月29日 臨時理事会
- 29日 MAP 部会
- 5月1日 のりのりミニマップを県市教育委員会へ寄贈
- 2日 北陸連携並行在来線等活用市民会議に参加
- 7日 福井市ミーティングテーブル事業打合せ
- 15日 臨時理事会
- 17日 ROBA 総会 & 記念講演会
- 17日 第1回 MW & CFD 実行委員会

今後の予定

- 5月22日(金)
- IRE 懇話会(並行在来線とまちづくり)
- 17:30 織協ビル 802号室
- 6月中旬 第2回 MW & CFD 実行委員会
- 6月14日(日) 福井鉄道・ROBA 懇談会
- 6月19日(金) ROBA 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

格差社会日本で働くということ 熊沢誠著

岩波書店 1900円+税

ISBN978-4-00-022478-9 C0036

企業別労働組合、企業だよりの福祉。そうした制度は、労働条件が良い企業ほど自由競争に負ける宿命がある。競争相手が外国に広がればなおさらである。今こそセフティーネットは国が全国一律に張り巡らすべきだが、国が制度として作るのか、全国の労働者が団結して勝ち取るのか。昔どこかで議論したことがあるような。そういった思想論だけでなく、いろいろと事実も述べてあるから、格差問題、労働問題に興味のある人は読んでみたらいいだろう。この世界はサービス残業をはじめとしてルール違反がいっぱいある。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

博士号取得の報告

松原光也

会員みなさま、京都在住でROBA会員の松原です。このたび、平成21年3月31日付けで博士（文学）を関西大学にて取得することができました。博士論文のタイトルは「現代日本の地方中心都市における公共交通の再生とまちづくりに関する地理学研究」です。福井におけるトランジットモール社会実験やえちぜん鉄道の再生を契機とする公共交通の再評価の他、高岡、富山、金沢の北陸4都市における公共交通の再生と地域のまちづくりを主体にまとめたものです。紙面をお借りしまして、ご報告ならびに御礼申し上げます。

ROBA発足の年である2001年に、トランジットモール社会実験の調査で福井を訪れてからは8年。当時聞き取りに応じていただいた福井市役所の高間さんや野田さんによると、京福と福井鉄道の連絡を良くすることも実験の内容に含まれていたそうですが、突然の運行休止。そして、路面電車サミット in 熊本での故坂川前市長の緊急協力要請のメッセージ。前途多難でありましたが、ROBAではのりのりマップとりんりんマップの発行。昨年には全国路面電車サミット福井大会も無事開催できました。そうした中で、ROBA会員や福井市、福井県の関係者、福井鉄道、えちぜん鉄道の社員の方々、その他、アンケートや聞き取り調査に応じてくださった地域みなさまのおかげで、私もなんとか一区切りを迎えることができました。現地に入りこんだ研究というより、市民活動にも入り込んでいる今日このごろです。

2003年に修士論文で書いていた福鉄とえち鉄のLRT化を軸にパーク＆ライドや相互乗り入れ、運行本数の増加とパターンダイヤ化、福井駅前への延伸などの施策がひとつずつ実現に向かっていきます。地域みなさんの努力の賜物ではないでしょうか。あくまで個人の意見ですが、枝線部分はトランジットモールに最適だと思っています。両側の店との適度な間隔、すぐ隣に自動車を通れる大きな道路がある、中心駅と官庁街が近くにある。これだけの条件が整っているところは珍しく、適地と考えている人も多いです。欧米のトランジットモールの形態でなくても、自動車より歩行者を優先させることで、安心して買物が楽しめる街にできると思います。今年はモビリティウィーク&カーフリーデーも福井市との協働で実施します。今年からリサーチアシスタントをしていた関西大学グリッドコンピューティング実験センターで特別任用研究員となりました。任期は1年ですが、これまでどおり福井に行くことができそうです。福井でホジロバ交通が便利になり、楽しく暮らせるまちとなるよう、がんばりましょう！



トランジットモール社会実験時の電車通り
広くなった歩道に出店があれば、さらににぎやかに

実験時に運行された「すまいるトラム」、当時は名鉄から借りていたが、現在は同形式の部分低床車が福井鉄道で運行中、全国路面電車サミット福井大会の時はバッテリートラムとして活躍



「どうする？鉄道の未来 地域を活性化するために」増補改訂版出版のお知らせ

このたび、「どうする？鉄道の未来 地域を活性化するために 増補改訂版」を出版致しましたのでお知らせ致します。

各地で鉄道の廃止が続いています。一方で、十分に議論を行って存続という結論に達し、地域が一体となって支え、その結果再生を成し遂げた鉄道もあります。しかし、一般的には、地域の鉄道が存廃問題に直面したとき、住民がその存廃の是非を議論するために必要な情報がなかなか十分には揃わないという現実があります。そのため、これまで、私たちの世代が地域の将来を決める重大な判断を委ねられながら、地域にとって必要な鉄道が、議論が不十分なまま廃止されてしまっていた可能性があります。

そこで、2004年12月、私たちは、鉄道の存廃問題に直面した地域の住民が、すぐに的確な議論と行動にたどり着き、地域が真に鉄道を必要とする場合に存続という結論を引き出すために必要な情報を提供すべく、「どうする？鉄道の未来 地域を活性化するために」を出版しました。これは各地の住民や市民団体が、同様の経験を経て、全国的に情報の蓄積と提供を進める必要性を認識したことから、お互いに情報を提供し合い、その上で大勢の方のご協力を頂いて、私たちが体験や取材を通じてそれらをまとめたものです。また、学識経験者の方々にもコラムを寄稿して頂きました。

そして昨年夏、緑風出版の高須社長からお電話を頂き、「初版の在庫が残り少なくなりました。この本はまだ社会的需要がありますが、情報の更新が必要なので改訂版を執筆してください。」と、おっしゃって頂き、このたびの増補改訂版の出版が実現致しました。

増補改訂版では、富山ライトレール、和歌山電気鉄道、ひたちなか海浜鉄道など、初版発売以降の新しい事例を取り上げると同時に、初版で取り上げた万葉線やえちぜん鉄道などの事例のその後を追い、再生の様子やその経緯を書きとめています。記述をさらに詳細化あるいは具体化したところもあります。それらによって、鉄道の存廃問題に直面している地域の住民の方々が、鉄道存続のあと、自分たちはどうすればよいのか、鉄道はどうなっていくのか、地域はどうなるのか、について、確信を持って存続のための取り組みにあたって頂けるようになったと思います。

このところ、国も強力に鉄道の再評価の後押しを推進し始めました。私たちも、この本の出版を機に、今後さらなる情報提供を行っていきたいと思います。

なお、「どうする？鉄道の未来 地域を活性化するために 増補改訂版」は、1,900円＋消費税95円、合計1,995円で、全国の一般書店等にて、4月10日より販売が開始されています。（早いところでは3月末頃に発売されているようです。）

みなさん、是非、ご一読賜り、ご意見等頂ければ幸いです。

「どうする？鉄道の未来 地域を活性化するために 増補改訂版」 鉄道まちづくり会議編 緑風出版

執筆・編集スタッフ

清水省吾（ROBA）

小坂京子（ライター・新可部線女性会）

上岡直見（鉄道まちづくり会議事務局長）

川上洋司先生にコラムを執筆して頂いています。そのほか、えちぜん鉄道の島洋取締役、岡山電気軌道の磯野省吾専務、RACDA岡将男会長などの方々に新たにコラムを執筆して頂きました。

以上（清水省吾）



ふくいのにのりマップ第6版発行しました マップ部会 林 博

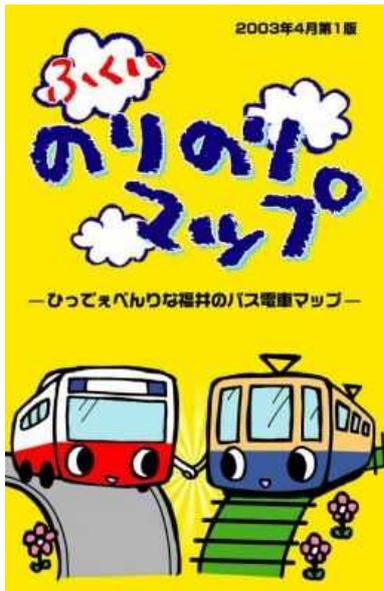
ふくいのにのりマップ第6版を4月1日現在の情報をもとに改訂して、表紙付6000部、ミニマップを8000部発行しました。ふくいりんりんマップ、ふくいのにのりマップ初版、福井市内バス案内所マップと同じ黄色になりました。総会で、皆さんにもお渡しします。



のにのりマップ2009第6版



りんりんマップ



のにのりマップ初版



福井市内バス案内所マップ

<販売状況>

4月24日 県交通まちづくり課 300部購入

4月28日 事業者、書店等に1200部委託配布（京福バスターミナル他、福鉄、えち鉄、勝木書店各店、安部書店各店、じっぶじっぶ、紀伊国屋書店、書泉グランデ、福井大学生協）

5月1日 ミニマップを福井市・県教育委員会へ副読本として寄贈

：福井市1500（各小中20部）、県800（各小中高2部）

5月7日 福井県バス協会1200部購入、立命館大学土居教授160部教材として購入

なお、28、29日のMAP部会で、のにのりマップWEBGISの可能性についての検討がなされ、H21年度の本格的運用に向けた取組みの検討が行われました。

おって詳しく報告させていただきますのでよろしく。

RACDA高岡「軽快都市宣言」報告1

去る5月3日、RACDA高岡恒例の軽快都市宣言に行って参りました。そこで目にしたものは非常に参考になるものでしたので報告します。

路面電車の走る通りでのイベント

高岡では路面電車の走る高岡駅前の末広町通りでのイベントを、電車を走らせながら行っていました。1日限定なら十分に参考にできるものでした。



RACDA高岡「軽快都市宣言」報告2

発電自転車 + トーマス型機関車

高岡在住のおもしろ自転車作家、Piccolo S.P.Aの柿田さんの手による発電機を組み込んだ自転車型健康器具を漕いで発電し、線路に流し、トーマス型の機関車を走らせる遊具を軽快都市宣言のイベントで使用していました。

写真では専らRACDA高岡会員が漕いでいますが、会場では、お父さんが漕いで子どもが乗ったり、お父さんが漕いで奥さんが幼い子どもを守るようにして二人で乗ったり、その家族たちそれぞれの嬉しそうな姿や笑顔がたいへんほほえましく、道行く人の注目を集め、大人気でした。

今後、福井でもイベントを行っていくうえで参考になるものでした。

(清水省吾)



福鉄水落駅パーク＆ライド利用報告

5月5日に、水落駅のパークアンドライド駐車場を利用して、鯖江つつじまつりに行ってきました。車での移動をなるべく少なくするためにベルの駐車場を利用することも考えたのですが、駐車場と駅が離れていて急行も止まらず不便なので敬遠し、結局水落駅まで片道20kmも車を走らせて、西鯖江まで2kmだけ福鉄に乗車しました。まつり会場の周辺に駐車できないための苦肉の策です。普段は無人駅の西山公園駅にも係員が常駐していて、電車もすべてのドアを開放して乗り降りさせていました。

好天に恵まれ満開のつつじを堪能できたのはよかったです。残念なことに水落駅の待合室には、犬の糞と思われる汚物が落ちており、また帰路の西鯖江駅では、混雑するホームでタバコを吸っている方がおられました。

このように、マナーの悪い客のおかげで不快な思いをする人が多くなり「プライベートな空間が確保されるマイカーの方がいい」と思われてしまえば、乗客増加に向けた数多くの施策も効果が半減してしまいます。かつて福武線沿線の高校に協力いただき実施していた駅の美化運動やマナー啓発活動を、機会を見て再度実施していく必要があると痛感しました。（報告/鳥居）

「ふくてつでんしゃぬりえぶろじえくと」進行中

（写真・文：塚谷 康夫）

鯖江つつじまつりに福鉄が「ぬりえ」を実施していると聞きつけて、5月5日に西山公園へ出向きましたが、残念ながら実施していたのは3日と4日のみでした。そこで、3月29日に福井市の駅前電車通り商店街などでおこなわれた『春うららん祭』で行われたときに実施されたぬりえの模様をお届けします。

福井鉄道では小さいお子様を対象に、電車をモチーフにした下絵にクレヨンなどで自由に色をつけてもらう「ふくてつでんしゃぬりえぶろじえくと」を、今年から福井市・鯖江市・越前市などで開催されるイベント時にコーナーを設けて実施しております。イベント終了後しばらくすると、ぬりえは福鉄電車内（座席の上部のスペース）に掲示されます。

家族ぐるみで福鉄電車に興味を持ってもらい、特に若年層が減りつつある鉄道の利用者を少しでも回復させようという地道な取り組みです。欲を言えば、インターネットのホームページ上で子供の書いたぬりえが何時何分発の電車に掲示されるということがわかるシステムにしてもらうと、子供が書いた絵を見るために再び福鉄に乗車するということになって、もっと乗車人数が増えると思います。がんばれ、福鉄！



3月29日 『春うららん祭』の福鉄コーナー



どんな色にしようかな？（注：撮影許諾を得ています）

新会員紹介

はじめまして、今年度からROBAに入会させていただきます三輪裕一（みわひろかず）と申します。

3月31日付で、武生東高校教頭を最後に県立高校の教員を定年退職いたしました。これを機会に20年前から会員だった福井環境研究会（REF）の活動に復帰しようと福井大学の川上洋司先生に相談申し上げたところ、ROBAの活動を紹介され、喜んで参加させていただくことにしました。



教員時代は、国語科を担当し、進路指導部主任、教務主任なども経験しています。少年期には家業が食堂で、多くの人と接する環境でもありましたので、営業関係や対人折衝には自信があります。教員時代はどうしても仕事中心で勤務時間外の活動など思いもよらないことでしたが、退職してみても、現役時代とはあまりに異なる豊かな自由時間に驚いています。この時間を思う存分に使ってROBAの活動をやりたいと思っています。幸いに県立高校時代に培った人脈は当分使えるはずですので、なにかと皆さんのお役にたてるものと思います。

振り返ってみますと、中高生時代（昭和40年代）には市役所前から田原町までの福鉄電車、大学は広島で路面電車のお世話になり、現在では、えち鉄八ツ島駅から30メートルの所に自宅があって、通勤の必要もないのに6ヶ月定期を購入しています。いつも生活の中に電車があった、という幸せな環境で過ごせたことを感謝しています。

これからの人生の目標を、暮らしやすい住みやすい町作りのために少しでも貢献することと設定しました。そのためにREF交通分科会での研究とROBAの活動を基盤にしていきたいと考えています。意欲だけは十分にありますが、なにぶんにも初心者ですので、ご指導をお願いしなければなりません。どうぞよろしくお願いいたします。

作 / 漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「キヨシロー！天国で待ってるよーベイビー！！」

塚谷(副編集長)

「新型インフル上陸も、冷静な行動をとりましょう！」

内田(発行責任者)

「三輪さん ようこそ ROBAへ！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>